

とっとりの誇り! 芝生が誇り! すべての子どもたちに芝生の環境を!

NPO法人グリーンスポーツ鳥取(GST)の中野氏(元鳥取大学農学部准教授)が考案、代表のニールスミス氏が推進している面積や利用人数に応じて最適な施工、維持管理方法を提供する技術(鳥取方式®の芝生化)は、現在、全都道府県で実施されている「とっとり」の誇りです!

~芝生化先進県「とっとり」の誇り~

- 鳥取方式®の芝生化の発祥地
⇒湖山池北岸のグリーンフィールドから始まった鳥取方式®の芝生化は、現在47都道府県2,500箇所以上で実施しています。
- 園庭・校庭の芝生化率は全国1位
⇒県内では毎年、保育所・幼稚園で5園・小学校で1校程度を芝生化中です。
⇒県立学校の校庭等芝生化率は50%を超えています。
- ティフトン芝(洋芝)の栽培面積は全国1位
⇒校庭など子どもたちが元気に走り回る環境に適したティフトン芝の多くは鳥取県内で生産されています。

芝生化のメリット

- グラウンドが芝になると子どもたちは外遊びが大好きになります。転ぶことを恐れずに走り回ることによって元気になります。「よく食べ、よく眠る」ようになります。
- また、砂埃の飛散防止や景観の美化などの効果もあります。



すべての子どもたちに芝生の環境を!

10月9日(日)に鳥取市内で官民連携の芝生化推進団体「鳥取方式®」の芝生化全国サポートネットワーク主催の第6回鳥取方式芝生化アカデミー(事例視察及びシンポジウム等)が開催されます。「なぜ芝生化?」をテーマに一緒に楽しく学びましょう。(事前申込が必要です。)

詳細はこちら▶<http://www.pref.tottori.lg.jp/shibafuka/>
(県庁スポーツ課公式サイト)

(ニールスミスさんのコメント)

国の財産は子どもたち。子どもたちの笑顔のために、子どもたちの目線で芝生化を考えてみてください。緑のプレイグラウンドを一緒に広めていきましょう。



「街のど真ん中を芝生化!」鳥取市立遷喬小学校 校庭芝生化の事例報告~「緑の絨毯」は今が見頃~

6月、GSTのニールスミス氏の指導のもと、先生、保護者の皆さん、子どもたち、また、地域の皆さんと一緒に約4,000㎡の校庭にポット苗(手の平サイズの芝生の苗)の植付け作業を行いました。「緑の絨毯」は植付け後、約3ヶ月で完成します!芝生の上を裸足で思っきり走り回る子どもたちの姿や笑顔がたくさん見られることを期待しています。



問合せ先 県庁スポーツ課 電話 0857(26)7919 FAX 0857(26)8108 県教委教育環境課 電話 0857(26)7698 FAX 0857(26)8195

地域の人々と一緒に楽しもう!

鳥取発! スポーツでつながる共生社会充実事業

6月18日(土)に、倉吉養護学校在校生や卒業生、地域住民等合わせて26名が体育館に集まり、フロアグラウンド・ゴルフを一緒に楽しみました。障がいのあるなしにかかわらずスポーツを楽しむ「鳥取発!スポーツでつながる共生社会充実事業」の一環で、倉吉市の地域総合型スポーツクラブ「一般社団法人山陰リンクの会(代表:杉谷哲治氏)」が主催し、倉吉養護学校を拠点として開催されました。

※フロアグラウンド・ゴルフ…体育館でできる室内グラウンド・ゴルフ。当日は5人程度のグループで、8ホールを回りました。

「すごい!上手だねえ!」「おいしい!少し弱かったな~」
歓声とともに参加者が声を掛け合い、次のプレーに進みます。一打一打にグループ全体が一喜一憂し、楽しそうにホールを回り、倉吉養護学校在校生や卒業生も自然な声かけにつつまれて活動に溶け込んでいました。

地域でグラウンドゴルフをされている方がたくさん参加されており、倉吉養護学校在校生や卒業生が地域の方に優しく教えてもらう姿が随所に見られました。ゆったりとした活動で、誰もが参加しやすい雰囲気になっており、第1回目から、障がいのある人もない人もともに楽しみました。

- 今後の予定
- 山陰リンクの会では年間6回の活動を予定。
9月17日(土)に第4回目を開催予定です。
 - 皆生養護学校(主催:医療法人養和会CHAX)、県立米子養護学校(主催:フレンズけんべいスポーツクラブ)も活動がスタートしています。

地域の人たちと楽しくなかよくおしゃべりしながら交流できて、よかったです。(卒業生)

勝ち負けは二の次、交流は笑顔の花畑で、一日楽しく生徒さんと過ごしました。(地域の方)

ホールインワンで入ってうれしかったです。次も楽しみです。(在校生)

入れるのが難しかったけど、がんばりました。みんなできて楽しかったです。(在校生)



問合せ先 県教委特別支援教育課 電話 0857(26)7575 FAX 0857(26)8101

1日60分以上の運動習慣を!

鳥取県 遊びの王様ランキング



鳥取県体力・運動能力調査結果から、体育学習以外に1日60分の運動習慣がある児童生徒は、体力合計点が全国平均値を上回る傾向にあります。子どもたちの運動習慣の定着をめざして、県教育委員会では運動遊びサイト「遊びの王様ランキング」を開発し、「風船バレー」「大縄跳び」等、楽しく遊べる25種目を用意して、みなさんのチャレンジを待っています。9月30日までは、前期トリピーカップを開催中で、10月からは後期トリピーカップ、そのほか期間限定大会も開催します。各大会終了後には、各種目優勝及び入賞チームに記念品、参加チームには記録証をお送りします。遊びの王様ランキングは各学校・幼稚園・保育所・親子会・スポーツクラブ等で参加可能です。みんなで声をかけあい、チームで参加してください。詳しくはホームページを御覧いただくか、下記「問合せ先」まで御連絡ください。

問合せ先 県教委体育保健課 電話 0857(26)7522 FAX 0857(26)7542 遊びの王様ランキングHP <http://www.asobi2.com/>

学校や地域で取り組む防災教育

今後発生が懸念される大規模災害に備えて、学校や地域では、防災教育をより一層充実し、防災意識を高めていくために様々な取組を行っています。

主な取組内容

- 保護者引き渡し訓練の実施
- 学校、家庭、地域の3者が連携し、地域で一体となった防災教育の実施

「淀江小学校」親子で学ぶ防災教室

昨年度、米子市立淀江小学校では土曜日授業を活用して「親子で学ぶ防災教室」を開催しました。当日、児童は朝から登校し、1時間目の学習を各学級で行いました。2時間目から保護者が参加し、県の防災アドバイザー横山ひとみ氏から地震や津波災害時、どのように対応し避難すればよいかを親子で学びました。3時間目は、体育館から各教室に向かい、児童の引き渡しを行いました。雨の降る天気でしたが、親子で、歩いて帰路につきました。今後も、いざという時に冷静に対応できるよう、日頃から学校・家庭・地域で連携していくことが大切です。



「明德地区」総合防災訓練

鳥取市立明德小学校は、明德地区防災会主催の総合防災訓練に、多くの児童や先生が参加しています。今年は、10月2日に行われます。昨年度の様子を紹介すると、町内会ごとに校庭への避難、連合自警団による放水、消火器を使用しているの消火訓練、女性の会による炊き出しなどが行われました。休日に実施するため、全児童の参加とはなりませんが、このような大規模な訓練によって、地域の安全な生活が担保されています。



問合せ先 県教委体育保健課 電話 0857(26)7527 FAX 0857(26)7542

園生活から小学校生活への円滑な接続のために取り組んでいます!!

県内各地の幼稚園・保育所・認定こども園等と小学校では、子どもたちの育ちと学びをつなぐために、ここで紹介する様々な取組を行っています。幼児・児童の姿に合わせ、地域・学校の特色を生かした取組が展開されています。

小学校長と園長の連絡協議会の開催

「鳥取県幼保小連携推進モデル事業」園から小学校への円滑な接続に向けた取組を実施する市町村を紹介します。

日野町

「日野町保小中一貫教育推進委員会」の活動として、保小・小中連携推進部会が「アプローチ・スタートカリキュラム」を見直し、保小交流会、保小連絡会、小学校教員の保育参加等に取り組み、保小連携の強化を図っています。

接続期のカリキュラムの編成

倉吉市

幼保小連携を推進するため、市内の全園長・小学校長及び行政関係者を構成員として「幼児教育研究会」を設置しています。小学校区ごとで、重点目標や具体的な取組について協議を行い、幼保小がつながって一貫性のある保育・教育をめざし取り組んでいます。

入学前、入学後の連絡会

鳥取市

醇風小学校区内の園長・校長による連絡協議会や担任同士の連絡会などを実施し、共通理解を取り組んでいます。また、子ども同士が相手意識を高め、コミュニケーション力を身に付けてほしいと願い、幼児と児童の交流活動も行っています。本年度は、さらに実りのある交流を推進します。

教員・保育者の合同研修会

幼児と児童の合同学習

幼児と児童の交流

教員、保育者の保育体験授業体験

県教育委員会は、円滑な接続に向けて取り組む市町村や園、小学校の取組を支援するとともに、その取組の成果を各種研修会や広報誌等で発信していきます。

問合せ先 県教委小中学校課 電話 0857(26)7915 FAX 0857(26)8170